

指数先物・指数オプション取引の契約締結前交付書面 新旧対照表（2021年9月21日）

（下線部分変更箇所）

新	旧
<p>P1</p> <p>この書面には、指数先物・指数オプション取引を行っていただく上でのリスクや留意点が記載されています。あらかじめよくお読みいただき、ご不明な点は、お取引開始前にご確認ください。</p> <p>（略）</p> <p>○ 指数先物・指数オプション取引は、抽象的な指数を対象商品としたものであり、実際の受渡しが可能ないため、期日までに反対売買によって決済されなかった場合には、指数先物取引では、契約時の約定価格と最終清算数値（特別清算数値（金融商品取引所が定める特別な指数又は数値（SQ値ともいいます。以下同じ。））の差額を受払いすることで、指数オプション取引では、権利行使価格とオプション清算数値（特別清算数値（SQ値）。以下同じ。）の差額を受払いすることで、いずれも差金決済が行われます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>（略）</p> <p><b>指数オプション取引のリスクについて</b></p> <p>（略）</p> <p><b>&lt;指数オプションの売方特有のリスク&gt;</b></p> <p>（略）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 売方は、権利行使の割当てを受けたときには、必ずこれに応じなければなりません。すなわち、売方は、権利行使の割当てを受けた際には、権利行使価格とオプション清算数値の差額の支払いが必要となりますから、特に注意が必要です。</li> </ul> <p>（略）</p> </div>	<p>この書面には、指数先物・指数オプション取引を行っていただく上でのリスクや留意点が記載されています。あらかじめよくお読みいただき、ご不明な点は、お取引開始前にご確認ください。</p> <p>（略）</p> <p>○ 指数先物・指数オプション取引は、抽象的な指数を対象商品としたものであり、実際の受渡しが可能ないため、期日までに反対売買によって決済されなかった場合には、指数先物取引では、契約時の約定価格と最終清算数値（SQ値）の差額を受払いすることで、指数オプション取引では、権利行使価格と最終清算数値（SQ値）の差額を受払いすることで、いずれも差金決済が行われます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>（略）</p> <p><b>指数オプション取引のリスクについて</b></p> <p>（略）</p> <p><b>&lt;指数オプションの売方特有のリスク&gt;</b></p> <p>（略）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 売方は、権利行使の割当てを受けたときには、必ずこれに応じなければなりません。すなわち、売方は、権利行使の割当てを受けた際には、権利行使価格と最終清算数値（SQ値）の差額の支払いが必要となりますから、特に注意が必要です。</li> </ul> <p>（略）</p> </div>
<p>（略）</p> <p>P5</p> <p>1. 指数先物取引の仕組みについて</p> <p>（略）</p> <p>○ 取引の方法</p> <p>（略）</p> <p>(2) 取引の期限</p> <p>指数先物取引（以下の a 及び b に掲げる指数先物取引を除く）は、金融商品取引所が定める月の第2金曜日（休業日に当たるときは、順次繰り上げる。）の前日（休業日に当たるときは、順次繰り上げる。以下同じ。）に終了する取引日（日中取引終了後に設けられているセッションの開始時から翌日（休業日に当たるときは、順次繰り下げる。以下同じ。）の日中取引の終了時までの1サイクルをいいます。以下同じ。）を、取引最終日とする取引（以下「限月取引」といいます。）に区分して行います。</p> <p>また、直近の限月取引の取引最終日の翌日の日中取引から新しい限月取引が開始されます。</p> <p>a. 米国株価指数先物取引</p> <p>各限月取引の第3金曜日（休業日又は対象指数が算出されない日にあたる時は、順次繰り上げる。）に終了する取引日を取引最終日とする取引に区分され、直近の限月取引の取引最終日の翌日の日中取引から新しい限月取引が開始されます。</p>	<p>（略）</p> <p>1. 指数先物取引の仕組みについて</p> <p>（略）</p> <p>○ 取引の方法</p> <p>（略）</p> <p>(2) 取引の期限</p> <p>指数先物取引（以下の a から d に掲げる指数先物取引を除く）は、金融商品取引所が定める月の第2金曜日（休業日に当たるときは、順次繰り上げる。）の前日（休業日に当たるときは、順次繰り上げる。以下同じ。）に終了する取引日（日中取引終了後に設けられているセッションの開始時から翌日（休業日に当たるときは、順次繰り下げる。以下同じ。）の日中取引の終了時までの1サイクルをいいます。以下同じ。）を、取引最終日とする取引（以下「限月取引」といいます。）に区分して行います。</p> <p>また、直近の限月取引の取引最終日の翌日の日中取引から新しい限月取引が開始されます。</p> <p>a. 米国株価指数先物取引</p> <p>各限月取引の第3金曜日（休業日又は対象指数が算出されない日にあたる時は、順次繰り上げる。）に終了する取引日を取引最終日とする取引に区分され、直近の限月取引の取引最終日の翌日の日中取引から新しい限月取引が開始されます。</p>

b. ボラティリティ指数先物取引

各限月取引の翌月の第2金曜日(休業日に当たるときは、順次繰り上げる。)の30日前となる日(休業日に当たるときは、順次繰り上げる。)の前営業日に終了する取引日を取引最終日とする取引に区分され、直近の限月取引の取引最終日の翌日の日中取引から新しい限月取引が開始されます。

(削除)

(略)

○ 決済の方法

(略)

(2) 最終清算数値による決済(最終決済)

取引最終日までに反対売買により決済されなかった建玉は、新規の売付け又は買付けを行ったときの約定数値と最終清算数値との差に相当する金銭を授受することにより決済されます。

2. 指数オプション取引の仕組みについて

指数オプション取引には、東証株価指数(TOPIX)オプション取引や日経平均株価指数オプション取引などがあり、商品ごとに金融商品取引所が定める規則に従って行います。

○ 取引の方法

(略)

(2) 取引の期限

直近のそれぞれの限月取引の取引最終日の翌日の日中取引から新しいそれぞれの限月取引が開始されます。

(略)

P12

先物・オプション取引、およびその委託に関する主要な用語

(略)

・ オプション清算数値

権利行使日における対象指数の各構成銘柄の金融商品取引所が開設する取引所金融商品市場における売買立会の始めの約定値段(取引最終日の終了する日の翌日に約定

b. ボラティリティ指数先物取引

各限月取引の翌月の第2金曜日(休業日に当たるときは、順次繰り上げる。)の30日前となる日(休業日に当たるときは、順次繰り上げる。)の前営業日に終了する取引日を取引最終日とする取引に区分され、直近の限月取引の取引最終日の翌日の日中取引から新しい限月取引が開始されます。

c. 台湾株価指数先物取引

各限月取引の第三水曜日(対象指数が算出されない日に当たるときは、順次繰り下げる。)の前日に終了する取引日を取引最終日とする取引に区分され、直近の限月取引の取引最終日の翌日の日中取引から新しい限月取引が開始されます。

d. 中国株価指数先物取引(香港上場中国株の株価指数先物取引)

各限月取引の末日(対象指数が算出されない日に当たるときは、順次繰り上げる。)の前日(対象指数が算出されない日に当たるときは、順次繰り上げる。)に終了する取引日を取引最終日とする取引に区分され、直近の限月取引の取引最終日の翌日の日中取引から新しい限月取引が開始されます。

(略)

○ 決済の方法

(略)

(2) 最終清算数値(SQ 値)による決済(最終決済)

取引最終日までに反対売買により決済されなかった建玉は、新規の売付け又は買付けを行ったときの約定数値と最終清算数値(取引最終日の終了する日の翌日の指数構成銘柄の始値に基づいて算出する特別な指数。SQ 値ともいいます。以下同じ。)との差に相当する金銭を授受することにより決済されます。

2. 指数オプション取引の仕組みについて

オプション取引には、東証株価指数(TOPIX)オプション取引や日経平均株価指数オプション取引などがあり、商品ごとに金融商品取引所が定める規則に従って行います。

○ 取引の方法

(略)

(2) 取引の期限

指数オプション取引は、金融商品取引所が定める限月取引(通常限月取引及び週次設定限月取引を示します)に区分して行います。

また、直近のそれぞれの限月取引の取引最終日の翌日から新しいそれぞれの限月取引が開始されます。

(略)

先物・オプション取引、およびその委託に関する主要な用語

(略)

(追加)

<p>値段がない銘柄については、<u>金融商品取引所が定める値段</u>に基づき算出した特別な指数(特別清算数値(SQ値))をいいます。</p> <p>(略)</p> <p>P14 <b>当社の概要</b></p> <p>加入協会に「<u>一般社団法人日本STO協会</u>」を追加</p> <p>P16 <b>SBI証券の指数先物・指数オプション取引について</b> 別紙</p> <p>1. 用語の定義 (略)</p> <p><b>(8)拘束金額</b></p> <p>先物建玉評価損+先物建玉手数料、および消費税+先物注文手数料、および消費税+買いオプション注文概算受渡額</p> <p>ただし、</p> <p>①～③ (略)</p> <p>④「買いオプション注文概算受渡額」とは、発注したオプションの買い注文が約定したと仮定した場合の受渡代金相当額(受渡代金相当額は、発注時に入力した価格をもとに計算しますが、成行注文・引成注文につきましては現在値(現在値が無い場合は直近清算値)の1.4倍を上限とした価格、逆指値注文の執行条件が成行注文につきましては発注時に入力した価格と現在値(現在値が無い場合は直近清算値)の1.4倍を上限とした価格のいずれか大きい価格をもとに計算します。)をいいます。拘束金額は時々刻々と変化しますので、発注を検討されるときには、必ずウェブサイト上でご確認ください。</p> <p>(略)</p> <p><b>(13)立会時間</b></p> <p>大阪取引所における立会時間</p> <p>取引は日中立会と夜間立会の2場制となっております。</p> <p>各商品の取引時間は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指数先物(日経平均VI先物を除く)</li> </ul> <p>日中立会：8：45～15：15</p>	<p>(略)</p> <p><b>当社の概要</b></p> <p>(追加)</p> <p>別紙 <b>SBI証券の指数先物・指数オプション取引について</b></p> <p>1. 用語の定義 (略)</p> <p><b>(8)拘束金額</b></p> <p>先物建玉評価損+先物建玉手数料、および消費税+先物注文手数料、および消費税+買いオプション注文概算受渡額</p> <p>ただし、</p> <p>①～③ (略)</p> <p>④「買いオプション注文概算受渡額」とは、発注したオプションの買い注文が約定したと仮定した場合の受渡代金相当額(受渡代金相当額は、発注時に入力した価格をもとに計算しますが、成行注文・<u>最良指値注文</u>・引成注文につきましては現在値(現在値が無い場合は直近清算値)の1.4倍を上限とした価格、逆指値注文の執行条件が成行注文につきましては発注時に入力した価格と現在値(現在値が無い場合は直近清算値)の1.4倍を上限とした価格のいずれか大きい価格をもとに計算します。)をいいます。拘束金額は時々刻々と変化しますので、発注を検討されるときには、必ずウェブサイト上でご確認ください。</p> <p>(略)</p> <p><b>(13)立会時間</b></p> <p>大阪取引所における立会時間</p> <p>取引は日中立会と夜間立会の2場制となっております。</p> <p>各商品の取引時間は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指数先物(日経平均VI先物、<u>台湾加権指数先物</u>を除く)</li> </ul> <p>日中立会：8：45～15：15</p>
---	--

夜間立会：16：30～翌 6：00

- ・日経平均 VI 先物

日中立会：9：00～15：15

夜間立会：16：30～19：00

(削除)

- ・指数オプション

日中立会：8：45～15：15

夜間立会：16：30～翌 6：00

(略)

### (16) ノンキャンセル・ペリオド (NCP)

ノンキャンセル・ペリオドとは、板寄せ直前の注文訂正・取消しによる過度の価格変動を防止する観点から、日経 225 先物、ミニ日経 225 先物、TOPIX 先物の寄り、および引けに係る板寄せの直前 1 分間に、注文訂正・取消しを原則受付しない時間帯です。対象の時間帯は日中立会におけるオープニング・オークション前の 1 分間、夜間立会におけるオープニング・オークション、およびクロージング・オークション前の 1 分間が対象です。

ノンキャンセル・ペリオドの対象時間

・日中立会（オープニング・オークション）⇒8：44～8：45（1 分間）

・夜間立会（オープニング・オークション）⇒16：29～16：30（1 分間）

・夜間立会（クロージング・オークション）⇒翌 5：59～6：00（1 分間）

(略)

### 3. 取扱銘柄

先物・オプション取引において当社の取扱う取引は以下のとおりです。

- ・国内株価指数先物（日経 225 先物、ミニ日経 225 先物、TOPIX 先物、ミニ TOPIX 先物、JPX 日経インデックス 400 先物、東証マザーズ指数先物）
- ・国内株価指数オプション取引（日経 225 オプション）
- ・海外指数先物取引（NYダウ先物）
- ・ボラティリティ指数先物取引（日経平均 V I 先物）
- ・REIT 指数先物（東証 REIT 指数先物）  
(削除)

夜間立会：16：30～翌 5：30

- ・日経平均 VI 先物

日中立会：9：00～15：15

夜間立会：16：30～19：00

- ・台湾加権指数先物（※夜間立会はございません）

日中立会：8：45～15：15

- ・指数オプション

日中立会：9：00～15：15

夜間立会：16：30～翌 5：30

(略)

### (16) ノンキャンセル・ペリオド (NCP)

ノンキャンセル・ペリオドとは、板寄せ直前の注文訂正・取消しによる過度の価格変動を防止する観点から、日経 225 先物、ミニ日経 225 先物、TOPIX 先物の寄り、および引けに係る板寄せの直前 1 分間に、注文訂正・取消しを原則受付しない時間帯です。対象の時間帯は日中立会におけるオープニング・オークション前の 1 分間、夜間立会におけるオープニング・オークション、およびクロージング・オークション前の 1 分間が対象です。

ノンキャンセル・ペリオドの対象時間

・日中立会（オープニング・オークション）⇒8：44～8：45（1 分間）

・夜間立会（オープニング・オークション）⇒16：29～16：30（1 分間）

・夜間立会（クロージング・オークション）⇒翌 5：29～5：30（1 分間）

(略)

### 3. 取扱銘柄

先物・オプション取引において当社の取扱う取引は以下のとおりです。

- ・国内株価指数先物（日経 225 先物、ミニ日経 225 先物、TOPIX 先物、ミニ TOPIX 先物、JPX 日経インデックス 400 先物、東証マザーズ指数先物、TOPIX Core30 先物\*）
- ・国内株価指数オプション取引（日経 225 オプション、TOPIX オプション\*、JPX 日経インデックス 400 オプション\*）
- ・海外指数先物取引（NYダウ先物、FTSE 中国 50 先物\*、台湾加権指数先物\*）
- ・ボラティリティ指数先物取引（日経平均 V I 先物）
- ・REIT 指数先物（東証 REIT 指数先物）

※ TOPIX core30 先物、TOPIX オプション、JPX 日経 400 オプション、FTSE 中国 50 先物、台湾加権指数先物につきましては、取引所の流動性及び当社での取引状況を勘案し、2021 年 5 月に取扱いの停止を予定しています。対象 5 銘柄の新規建ては 2020 年 8 月 31

日(月)夜間立会よりすでに終了しております。

(略)

10. 注文の種類

(略)

大阪取引所における注文の執行条件

執行条件	概要
指値注文	価格の限度を指定して発注し、指定した価格又はそれより有利な価格で約定する注文。
成行注文	価格の限度を指定せずに発注し、最良の売呼値又は買呼値と順次対当する注文。
最良指値注文	価格の限度を指定せずに発注し、最良の売呼値又は買呼値と対当する指値注文。

※注文の種類の詳細は、大阪取引所、および当社のウェブサイトにてご確認ください。

(略)

(2020年12月)

《指数先物・指数オプション取引手数料表》  
インターネット・モバイル端末取引

※ 指数先物取引から以下の3銘柄についての記述を削除

- TOPIX Core30 先物
- FTSE 中国 50 先物
- 台湾加権指数先物

※ 指数オプション取引から以下の2銘柄についての記述を削除

- TOPIX オプション
- JPX 日経 400 オプション

(2020年12月)

以上

(略)

10. 注文の種類

(略)

大阪取引所における注文の執行条件

執行条件	概要
指値注文	価格の限度を指定して発注し、指定した価格又はそれより有利な価格で約定する注文。
成行注文	価格の限度を指定せずに発注し、最良の売呼値又は買呼値と順次対当する注文。

(削除)

※注文の種類の詳細は、大阪取引所、および当社のウェブサイトにてご確認ください。

(略)

(2021年9月)

P30

《指数先物・指数オプション取引手数料表》  
インターネット・モバイル端末取引

(削除)

(削除)

(2021年9月)